

## 新規保険収載のNi-Tiロータリーファイル加算とJIZAI



KIX DENTAL OFFICE 院長  
外賀 泰 先生

2004年 大阪歯科大学卒業  
2014年 CEセミナー(月星 光博主宰)OB会役員  
2016年 KIX DENTAL OFFICE開設  
2017年 CEセミナー講師

歯科診療報酬点数に、Ni-Tiロータリーファイル加算が新設された。これは、施設基準「手術用顕微鏡加算」を満たし届け出をしている歯科医院において、3根管以上の歯もしくは槌状根の歯に対して、歯科用3次元エックス線断面撮影装置(歯CT)で撮影し診断を行い、その後手術用顕微鏡下にて、Ni-Tiロータリーファイルを用いて根管治療を行い、最終的に根管へ加圧根管充填処置を行うことで、手術用顕微鏡加算400点に加えてNi-Tiロータリーファイル加算150点が算定できる、というものである。

そういう経緯もあり、今回はNi-Tiロータリーファイル JIZAI(MANI)の使い方を紹介したいと思う。(写真4) JIZAIは、SAFETY、FLEXIBILITY、SIMPLEの3つのコンセプトにより設計された、形状記憶型(熱処理型)Ni-Ti合金を採用しているNi-Tiロータリーファイルである。CW500rpm,3.0NcmもしくはTriAutoZX2(写真3)のOTR500rpm,0.8Ncmが推奨される。

断面は、ラジアルランドを有した円弧を持つ形状になっており、これにより過度なファイルの引き込みや食い込みを抑えてファイルが破折しにくくなっている。また、エンドドンティックモーターの回転軸とファイルの中心をずらすオフセットクロスセクションにすることで、切削片の排出能を高め、根管拡大・形成時の根管変位量を少なくできるという特徴を有する。

JIZAIの基本構成はオルフィスオープナー(#25.08テーパー)とメカニカルグライドパスファイルPre013(#13.04テーパー)とシェーピングファイルI(#25.04テーパー)、II(#25.06テーパー)、III(#35.04テーパー)の5本からなる。

術式として、まずDファインダー(#08.02テーパー、MANI)を、曲げずに、回転させずに、2~3ミリの上下運動のみで用いてスカウティングを行う。これで根管の難易度を判断する。

Dファインダー(#08.02テーパー)での穿通ができた場合、Dファインダー(#10.02テーパー)を同様に使用して、作業長までマイクログライドパス形成を行う。

Dファインダー(#08.02テーパー)での穿通がむずかしいと感じた場合、オルフィスオープナー(#25.08テーパー)で根管上部を形成し、歯軸とだいたい平行にDファインダー(#08.02テーパー)が挿入できるのを確認したのち、スーパーファイル#10.02 21mm(MANI)をTriAutoZX2のOGP180deg,300rpmで使用し、マイクログライドパス形成を行う。

作業長まで#10.02テーパーのマイクログライドパス形成ができれば、作業長までPre013⇒I⇒II⇒IIIの順に作業長までメカニカルグライドパス形成、根管拡大・形成を行う。狭窄した根管や湾曲の強い根管の場合は、IIもしくはIまででも構わない。こうして術式全体から手用器具を使う頻度が減らすことで、個人のスキルによる差が出にくくなり、多くの歯科医師が等しく良好な結果を得ることができると考えられる。

今回ご紹介したJIZAIは、マニー株式会社主催のWEB勉強会も実施しているという事なので、実際に手に取りながら体感して頂きたい。

根管治療の診断と処置の精度向上に大きく影響を与えるマイクロスコープでは、内蔵されたカメラの録画機能で素早く患者に治療内容を説明できるライカM320(写真2)は一流光学機器メーカーの手術用顕微鏡として術者にとって強い味方になるだろう。

また、根管拡大・形成後のワンポイントとして、RootZX3(写真5)という器械が話題を呼んでいる。根管長測定器に新開発の高周波モジュールを搭載し、根管内汚染物を加熱・焼灼することが可能である。根管内での細菌、汚染物質や根尖部の歯髄を効率的に加熱・焼灼することで、術後疼痛を軽減し患者と歯科医師双方にメリットがあると考えられる。また、このとき根管長測定器【1】と【2】のだいたい中間の位置での通電が一般的な症例の最適通電位置としている。

ぜひこれを機に、より快適な根管治療のために、デジタル式歯科用パノラマ・断層撮影X線診断装置 ベラビューX800(写真1)、手術用顕微鏡 ライカM320、エンドドンティックモーター TriAutoZX2、Ni-Tiロータリーファイル JIZAI、根管長測定器(一般的電気手術器) RootZX3高周波モジュールの導入をぜひ検討してもらいたい。

写真1 デジタル式歯科用パノラマ・断層撮影X線診断装置  
ベラビュー X800



写真3 エンドドンティックモーター  
TriAutoZX2



写真2

手術用顕微鏡  
ライカ320-D



写真4



Ni-Tiロータリーファイル  
JIZAI

写真5



根管長測定器(一般的電気手術器)  
Root ZX3高周波モジュール